

第 109 回古民家歴史部会歴史探訪

「新・東海道の宿場探訪シリーズ・第 4 回」

ふじやま公園古民家歴史部会・長谷川記

平成 28 年 7 月 6 日(水) 「川 崎 宿(1)」

*集合：(京急)川崎駅(改札口) 9 時 50 分厳守同時出発

(1)行 程： 下記「探訪先」と同じ。

(2)食事 場所： 自 由 行 動

(3)探 訪 先：「神奈川の宿場を歩く」、「東海道五十三次ハンドブック」等を参考にした。

(京急)川崎駅・スタート

- ① 六郷の渡し場跡：江戸初期に架けられた「六郷大橋」は、千住大橋・両国橋と並び、江戸の三大大橋と呼ばれたが、洪水で流され、広重の浮世絵にある渡し船の時代が 200 年も続いた。渡しを越えると川崎宿で、弥次さん喜多さんも腰を下ろした万年屋が特に有名だった。(マップの解説参照)

*長十郎梨のふるさと：明治中頃、大師河原村の当麻辰次郎が作った梨の新種は病害に強く甘味があり、後にその屋号を取って「長十郎」と名付けられ有名になった。六郷川河原一帯は、この梨の「ふるさと」だ。

- ②徳泉寺(港町駅前)：浄土真宗の寺。開山不詳、本尊は阿弥陀如来で、かつては対岸の羽田にあったが、旧六郷橋の架橋工事で現在地に移転したとされる。

*港町駅周辺の特記事項：港町駅周辺には、昔、「日本コロムビア」のレコード工場があり、美空ひばりのヒット曲「港町十三番地」は、港町 5 丁目付近を歌ったと言われている。今でも「港町駅」の発車メロディーとして、この曲が流れる。また、工場跡地には、タワーマンション 3 棟が聳え立っている。

- ③ 川崎河港水門：運河・港湾計画の一環として昭和 3 年に完成した。(マップの解説参照)

- ④ 久 根 崎：明治 22 年(1889)4 月 1 日・全国町村制の施行により、川崎宿(久根崎町ほか 3 町)は、「川崎駅」と改称され、更に周辺町村と合併して「川崎町」が成立した。川崎宿古来の町名の一つである。(特に見るものはなし)

- ⑤ 医 王 寺：天台宗の寺。医王寺の池に住むカニ・魚が火災の中から鐘を守った伝説や、昔、瘡(できもの)で苦しんだ村人が地蔵の身に塩をこすって治った伝説などが伝わる。(マップの解説参照) (ウラへ)

⑥ 若宮八幡宮(金山神社)：六郷川(多摩川)の治水祈願・干拓事業の守り神。祭神は性と鍛冶屋の神「カナマラヒコ・ヒメ」の夫婦神で、俗に「かなまら様」と呼ばれる。(マップの解説参照)

⑦ 新明神社： 川中島公園にあり、創建が約 670 年前という古い神社。
「歳(さい)の神」は、咳(せき)の神として、かぜ、百日咳などにご利益があると、信仰を集めた。

⑧ 川崎大師(平間寺)^{へいげんじ}：真言宗智山派・「大本山金剛山金乗院平間寺」というのが、正式の名前。 ご本尊は厄除弘法大師尊像。 その昔、無実の罪で尾張の国を追われ、川崎に住み着いた平間兼乗^{ひらまかねのり}が、 ある夜、夢枕に立った高僧のお告げにより、海の中から弘法大師像を引き揚げ、海辺に小庵を建てて祀ったのが始まり。
高野山の高僧尊賢上人が諸国遊行の途中に立ち寄り、この像の尊さと、見つかった由来の不思議さに感じ入り、兼乗と力を合わせ、大治 3 年(1,128)寺を建立した。

⑨ 大師稻荷神社：(マップの解説参照)

⑩ 明 長 寺：文化 10 年(1,813)、十一代将軍家斉が川崎大師(平間寺)参詣の折、平間寺の三十四世隆円上人が急逝し、その際明長寺が遺骸を預かり、参詣は無事に行われたという。 この寺で有名なのは、国の重文・「葵^{あおい}梶葉文染分辻ヶ花小袖」で、大坂夏の陣(1,615)で手柄を立てた萩田主馬という武将が、徳川家康から拝領したものだが、文化財保存のため見れず。

⑪ 千 蔵 寺： 天台宗の寺。本尊がインドの熱病除けの神・厄神鬼王^{やくじんきおう}という鬼で節分の時には、「鬼は内、福は外」と豆をまく。

* 「川崎大師・交通安全祈願殿」：東門前駅前に、インド寺院風の白い目立つ建物があり、交通安全祈願の受付をしている。(ここには入らない。)

一千蔵寺のすぐ前の 「東門前駅」・ゴール(解散)。

東海道歴史探訪4

川崎宿 1

2016.7.6



川崎(六郷の渡) 安藤広重

①六郷の渡し

「六郷の渡し」は、旧東海道における八幡塚村と川崎宿間の渡しで、江戸の玄関口の渡し場として、交通上極めて重要であった。渡しのような橋は広重の錦絵や地誌叢書類によって知ることができる。



六郷の渡しから川崎宿に入ると、万年屋・会津屋・新田屋などの旅籠や茶屋がありました。特に万年屋は、奈良茶飯が評判でした。米国総領事ハリスや皇女和宮も宿泊しました。また、弥次さん喜多さんが腰を下ろしたのも万年屋でした。万年屋から医王寺までを万年横丁と呼んでいたそうです。

②徳泉寺

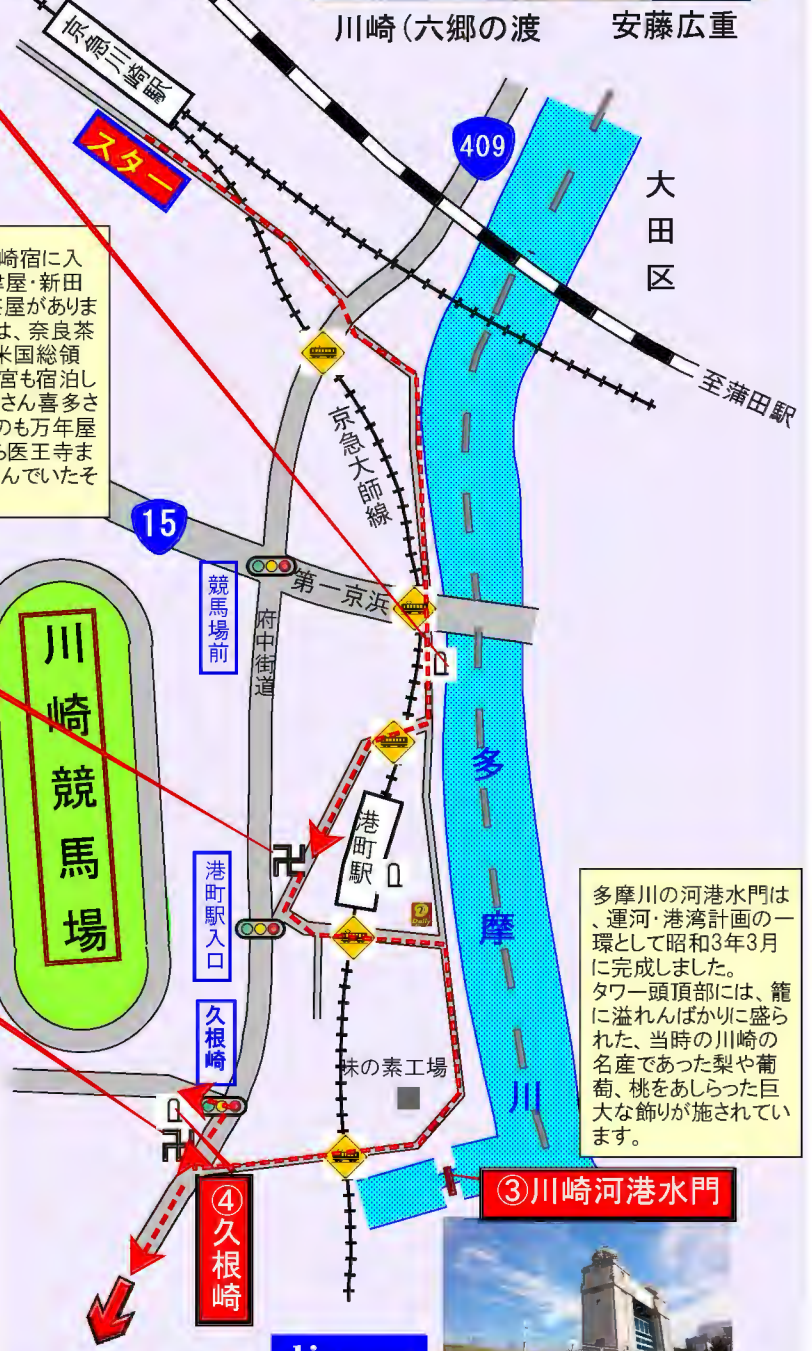


⑤医王寺



境内にある池には「とうせんばし」という橋がかかっていますが、通ることはできそうです。池の周囲には、七福神があり、この一か寺で、七福神めぐりが出来るという、ありがたいお寺です。

また、その昔、この村で「できもの」がはやり、治す薬もなく、困っていたところ、ここのお地蔵さまに、清めた塩をすり込めば、病は治るという話が広まりました。そこで「できもの」を治したい一心で村人たちは、塩をすり込みました。おかげで、「できもの」は治りましたが、お地蔵さまは、塩で溶けてしまったという、『塩で溶けた地蔵様』の話が伝わっています。



③川崎河港水門

多摩川の河港水門は、運河・港湾計画の一環として昭和3年3月に完成しました。タワーの頂部には、籠に溢れんばかりに盛られた、当時の川崎の名産であった梨や葡萄、桃をあしらった巨大な飾りが施されています。



dimson



若宮八幡宮の境内社の「金山神社」は、俗称「かなまら様」として有名。御祭神の金山比古神・金山比売神は、一般的には鉾山や鍛冶の神とされている。神産みにおいて、イザナミが火の神カグツチを産んで火傷をし痛み苦しんでいるときに、その嘔吐物から化生した神である。いつか当社では、性の神としても認識されるようになる。



山号金剛山
宗派真言宗智山派
寺格大本山
本尊弘法大師
創建年1128年(大治3年)
開山尊賢 開基平間兼乘
正式名金剛山金乗院平間寺
別称厄除弘法大師または川崎大師
札所等関東八十八箇所特別霊場
関東三十六不動7番
新四国東国八十八箇所1番
京浜四大本山



創建年代は不明だが、往古
洲崎の海中に出現した十一面
観音(大蔵神)を源義家の旧臣
・平間兼乗が拾いあげ祀ったの
が始まりとされる。

